

第十二回 ごふく美馬 伝統芸能の夕べ

尾上菊之丞・茂山逸平 二人会
逸青会
十周年記念特別公演



とき 平成30年11月11日(日) 午後2時開演(午後1時30分開場)
ところ 高知県立県民文化ホール(グリーン) 入場料 7,500円(全席指定)

主催:ごふく美馬 高知県立県民文化ホール

高知県立県民文化ホール自主文化事業

尾上菊之丞と茂山逸平が古典芸能の新たな可能性を求め、毎年新作を発表して来た二人会「逸青会」が結成10周年を迎えます。高知へはこれまでに平成23年『茶壺』、同27年『岐佐の鼻』にて来演、その度にファンを増やし、今回が3年ぶり3度目の公演となります。10周年の今回は藤間流八世宗家・藤間勘十郎を特別ゲストに迎え、記念公演にふさわしい豪華なプログラム。高知の芸術の秋を彩る古典芸能の夢の競演を是非ともお見逃しなく!



尾上 菊之丞
KIKUNOJO ONO

日本舞踊尾上流三代家元・二代目尾上菊之丞(現・墨雪)の長男として生まれる。2歳から父に師事し、81年『松の緑』で初舞台(5歳)。90年に尾上青楓の名を許されて以降、日本舞踊家として本格的に活動を開始。歌舞伎俳優その他、幅広いジャンルのアーティストとのコラボレーションなどにも積極的に挑戦している。2011年尾上流四代家元・三代目尾上菊之丞を襲名。スーパー歌舞伎『ワンピース』などの歌舞伎公演や舞踊公演の振付けも多く手掛けている。



茂山 逸平
I P P E I S H I G E Y A M A

大蔵流狂言方・二世茂山七五三の次男として生まれる。4歳の時『業平餅』の童にて初舞台。その後、『千歳』『三番三』『釣狐』を披く。94年に茂山宗彦、茂と『花形狂言少年隊』を結成。2000年より『TOPPA!』を、茂、童司らと共に主催し、活動。その一方で、NHK朝の連続テレビ小説『京ふたり』『オードリー』『ごちそうさん』、Eテレ語学講座『旅するスペイン語』ほか、舞台・CM等に出演するなど幅広く活躍。高知には狂言の稽古場を持ち、毎月一回指導に訪れている。



1983年『雨の五郎』で初舞台。祖父・六世藤間勘十郎(人間国宝)と母・七世藤間勘十郎(現・三世藤間勘祖)の許で舞踊家となるべく研鑽を重ねる。1987年NHK大河ドラマ『独眼竜政宗』に梵天丸役にて出演。1990年『宗家藤間流襲名舞踊会』にて二世・藤間康詞を襲名。2002年、八世宗家・藤間勘十郎を襲名。母・勘祖と共に、歌舞伎舞踊の振付を担当すると共に、若手俳優の舞踊の指導、育成に務めている。また苦舟(作曲・筆名)の名で数々の新作を発表している。高知へは2011年の『素踊り三人の会』以来7年ぶりの来演。

藤間 勘十郎
KANJURO FUJIMA
特別出演

鏡の松	四、新作	二人椀久	三、素踊り	因幡堂	二、狂言	煎じ物	◇番組 一、新作
茂尾上 山逸菊之丞	松山太夫 桃屋久兵衛	藤間勘十郎	尾上菊之丞	女 男	太郎冠者 亭主	煎じ物売り	太郎冠者 亭主
茂尾上 山逸菊之丞	藤間勘十郎	茂山童	尾上菊之丞	茂山逸	藤山勘十郎	藤山逸	藤山勘十郎
茂尾上 山逸菊之丞	藤間勘十郎	司 平	尾上菊之丞	司 平	藤山勘十郎	藤山逸	藤山勘十郎



茂山 童司
DOJI SHIGEYAMA

父・茂山あきら、祖父・二世茂山千之丞に師事。1986年『魔法使いの弟子』で初舞台。1997年『千歳』、2004年『三番三』、2006年『釣狐』を披く。語学に堪能でNHKの語学番組にレギュラー出演したほか、国内外でのパインガル狂言公演、若手アーティストや劇団とのコラボレーションを行うなど表現者としての新境地を切り開いている。オペレッタ『メリーウィドウ』の脚本・演出を手掛けるなど精力的に活動中。今冬、三世茂山千之丞を襲名予定。

チケット取り扱い
好評発売中!!

●高知県立県民文化ホール／高知市本町4丁目3-30 Tel.088-824-5321
●ごふく美馬／高知市追手筋1-9-11 Tel.088-824-5298